

# 青少年相談員だより

## —愛のパトロール—



私たち青少年相談員は、青少年の健全育成、非行防止、  
そして環境浄化のために活動しています

問い合わせ 市児童福祉課 ☎内線1733

**「茨城県青少年のための環境整備条例」が改正され、  
「茨城県青少年の健全育成等に関する条例」になりました。**

**深夜(夜11時～翌朝4時)に  
青少年を外出させないで!!**



**親が一緒でも  
いけません!**

茨城県青少年の健全育成等に関する条例 茨城県

〔保護者・事業者の皆さんへ〕

◆深夜(夜11時から翌朝4時)に青少年を外出させないようにしましょう。(第33条)

青少年の深夜外出は、非行や犯罪被害につながりやすいため、たいへん危険です!

※保護者は、深夜(夜11時から翌朝4時)に子どもを外出させないよう努めなければなりません。

※だれでも、保護者の承認を受けずに、深夜(夜11時から翌朝4時)に青少年を連れ出したりしてはいけません。

※「青少年」…乳児(0歳)から18歳未満の者

◆深夜に青少年を入場させてはいけないお店があります。(第34条)

映画館、カラオケボックス、まんが喫茶、インターネットカフェは、深夜に青少年を入場させてはいけないことになっています。

◆青少年の入れ墨(タトゥーを含む)は禁止されています。(第36条)

だれでも、青少年に対し、入れ墨をしたり、させてはいけません!

青少年が一時的な好奇心により入れ墨を施すと、容易に消すことができない上、プールなどへの入場を禁止されたり、就職や結婚などへ影響が出る場合もあり、施術を後悔する恐れがあります。さらに施術の状況によっては、器具から感染症にかかり健康を害する恐れもあります。



農芸学院正面建物

**矯正施設「茨城農芸学院」の運動会に参加して**

茨城農芸学院から運動会の案内をいただき、青少年相談員8人は、10月7日秋晴れの下、「仲間を信じて栄光をつかみとれ!」のスローガンを掲げた運動会に参加しました。

二百メートル走では、転んでも立ち上がり、最後まであきらめず懸命に走る姿があり、また競り合った相手には、ゴール後の健闘をたたえるようなまなざしが、印象的でした。会場には、院生の保護者も大勢訪れ、親子競技で家族の触れ合いを深め、一緒に味わう昼食で、和やかなひとときを過ごしているようでした。私たちは、参加した競技の合間に少年と話をしましたが、素直にしっかりと受け答えをしてくれました。

少年が犯した過ちの更生をして、社会に順応し、生き生きと歩んでほしいと強く感じた運動会でした。

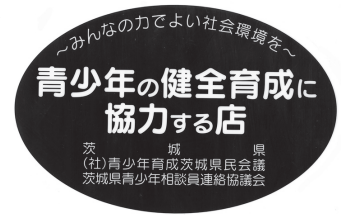


線路わきの公園

牛久第三中学校区の青少年相談員は、現在6人で活動を行っています。通常のパトロールは毎月一回実施しており、子どもたちが立ち寄りそうな牛久駅周辺の商業地域や公園などを中心に巡回しています。公園では、夕方まで遊んでいる子どもたちに家に帰るよう声を掛けたり、また、線路に面した

公園では、線路内に立ち入ったり、ボールなどが入らないように声掛けをしています。以前は駅周辺の公衆電話に出会い系の勧誘ピラナドが多く見受けられましたが、現在は携帯電話の普及に伴い、こういったピラの問題は解消されています。しかし、依然、牛久駅西口周辺や子どもたちの通学路などに、裸の写真やいたずら書きがばらまかれています。健全な育成に取組んでいく必要を強く感じます。そして子どもたちが安心して元気に過ごせる環境をみんなで作っていききたいと思っています。

見たことがありますか！  
このステッカー



現在の社会は、非行や犯罪から青少年を守るため、地域や家庭、学校が一体となった健全育成の環境づくりが必要とされています。

市内では、平成22年10月現在、96のお店が「青少年の健全育成に協力する店」に登録をいただき、ステッカーを貼るなど、青少年健全育成と環境の整備にご理解とご協力をいただいています。

子どもたちへの明るい未来づくりの手助けとして、さらにより多くの事業者の皆さんのご協力をお願いいたします。

「青少年の健全育成に協力する店」  
(新規登録店)

- セブンイレブン女化北店
- ドラッグ寺島牛久柏田店
- エンゼル(ペーカリー)
- ヤマイチ味噌
- ファミリーマートひたち野うしく東店

## 児童自立支援施設「那須学園」を視察して

私たち青少年相談員は、10月18日、栃木県矢板市にある児童自立支援施設「那須学園」を視察しました。この施設には、学校や家庭において行動に問題があり、児童相談所や家庭裁判所で「子どもの生活が好ましい」と判断された児童が入園しているということです。

現在学園には、小学校6年生から18歳未満の男女30人が共同生活をしており、子どもたちは家庭的な雰囲気の中で規則正しく、基本的な生活習慣が身に付くよう指導を受けたり、勤労の尊さを学ぶため、職員と一緒に敷地内の整備や農作業などを行っているそうです。

学園で子どもたちの指導に当たっている育成課長の田中さんは、「悪いことをする子どもはいくらでもいる。悪いことをする子どもをなくすには、社会や環境を変えなければならぬ」とおっしゃっていて、深く考えさせられました。

### 子どもたちの現状は

今、さまざまな環境の中で、子どもたちが置かれている状況は、必ずしも良いというものではありません。いろいろなことが便利になり、社会が豊かになっている反面、コミュニケーション能力が低下していることも事実です。

この研修を通し、子どもたちの成長の基盤となっている家庭環境を大事に考え、社会全体がもっと思いやりのある環境になることが必要だと思いました。



会議室にて育成課長の説明を伺う